

多摩支部会報10号

平成30年度総会特別号

平成30年 8月 1日

明治大学校友会
東京都多摩支部

支部長 西山 強

広報委 飯田光宏



安田 暉 前支部長が
校友会功労賞を受賞さ
れました

平成30年7月 1日、立川グランドホテルに於いて「明治大学校友会東京都多摩支部 第15回定時総会」が盛大に開催され、各地域支部から250名を超える校友が駆けつけました。

第一部「総会」は、国分寺地域支部の芦田隼人氏・昭島地域支部河野幸子氏の司会のもと、土屋実行委員長（国立）の開会のことばに続き、西山強支部長挨拶（別掲）・荒川利治明治大学情報担当理事及び松浦晴彦校友会監査委員の祝辞（別掲）のあと、29年度事業報告・決算や30年度事業計画・予算、会則の一部変更等が活発な質疑応答の後、全案が可決・承認されました。

また、安田相談役への校友会功労者表彰が行われ、堀田清則実行副委員長（国分寺）の閉会のことばで閉会しました。なお議長は高久みどり氏（国分寺）が、支部総会では全国初めて女性議長として堂々とその重責を担いました。

第二部アトラクションでは、元宝ジェンヌとその教え子で構成する「カジキタドリーム」及び多摩支部女性会によるコラボレーションが爆発し、プロの迫力・歌唱力に圧倒されました。司会進行は多摩支部女性会の星野稔子氏・中根三枝氏が担当いたしました。

第三部懇親会は、国立地域支部の鈴木美恵子氏・太田智氏の司会により、重藤正義委員長（昭島）の開会のことばに引続き、岡本秀喜父母会多摩支部副会長のご祝辞、佐藤熙男校友会東京都西部支部長の乾杯で賑やかに始まり、あちらこちらで懇談の花が咲き乱れました。

懇親会途中、学生による”津軽三味線響”の演奏や第134回明大祭のご案内とカンパがあり、地域支部集合写真（別掲）も撮り、越智浩治氏（国立）のリードで校歌斉唱そして万歳三唱後、森田有二実行委員（青梅）の閉会のことばで別れを惜しみ再会を約し散会しました。



明治大学校友会 東京都多摩支部 第15回定時総会 次第

日時：2018年(平成30年)7月1日(日)
於：立川グランドホテル(カルロ・スカーラホール)

第Ⅰ部 総会

司会 芦田 隼人 河野 幸子

13:00～ 物故者に対して黙祷

- | | | |
|----------------------------|--------|--------------|
| 1. 開会のことば | 土屋 栄一 | 第15回総会実行委員長 |
| 2. 支部長挨拶 | 西山 強 | 支部長 |
| 3. ご来賓紹介 | | |
| 4. 明治大学代表ご挨拶 | 荒川 利治様 | 明治大学情報担当常勤理事 |
| 5. 明治大学校友会本部代表ご挨拶 | 松浦 晴彦様 | 校友会監査委員 |
| 6. 議長選出 | | |
| 7. 議事録署名人選出 | | |
| 8. 議事 | | |
| 第1号議案 2017年度事業報告承認の件 | 柳澤 正長 | 幹事長 |
| 第2号議案 2017年度収支決算報告承認の件 | 伊藤 則義 | 財務幹事 |
| 2017年度監査報告 | 齋藤 眞吾 | 監査委員 |
| 第3号議案 2018年度事業計画(案)承認の件 | 柳澤 正長 | 幹事長 |
| 第4号議案 2018年度収支予算(案)承認の件 | 伊藤 則義 | 財務幹事 |
| 第5号議案 多摩支部会則一部改正(案)承認の件 | 柳澤 正長 | 幹事長 |
| 9. 校友会功労者表彰(被表彰者 相談役 安田 暉) | 松浦 晴彦様 | 校友会監査委員 |
| 10. 閉会のことば | 堀田 清則 | 第15回総会実行副委員長 |

第Ⅱ部 アトラクション

司会 女性会 星野 稔子 中根 三枝

14:35～ カジキタドリーム(宝塚OGと女性会によるコラボ)

第Ⅲ部 懇親会

司会 鈴木 三恵子 太田 智

- | | | | |
|--------|------------------------------|--------|---------------|
| 15:25～ | 1. 開会のことば | 重藤 正義 | 第15回総会実行委員 |
| | 2. ご来賓祝辞 明治大学東京都多摩地区父母会代表 | 岡本 英喜様 | 東京都多摩地区父母会副会長 |
| | 3. 乾杯 明治大学校友会東京都4支部代表 | 佐藤 照男様 | 校友会東京都西部支部長 |
| | 4. 歓談 津軽三味線響の演奏、第134回明大祭のご案内 | | |
| | 5. 校歌斉唱 | 越智 浩治 | 国立地域支部 |
| | 6. 万歳三唱 明治大学万歳 | 西山 強 | 支部長 |
| | 明治大学校友会多摩支部万歳 | 荒川 利治 | 明治大学情報担当常勤理事 |
| 17:15 | 7. 閉会のことば | 森田 有二 | 第15回総会実行委員 |



挨拶 西山 強支部長 (36年 工)



HomeComing Day

うれしい「再会」、新しい「つながり」

MEJI UNIVERSITY

2018, 10, 28 (Sun)

節目の第15回多摩支部総会に、このように多くの校友にご来場いただきましたこと厚くお礼を申し上げます。

また、ご多忙な中、ご臨席賜りました学校法人明治大学情報担当常勤理事荒川利治様をはじめ、ご来賓の皆さまに厚く御礼を申し上げます。

学校の状況等につきましては、後ほどご来賓からお話がありますので、私は、多摩支部の現状や課題等について、若干、触れてみたいと思います。

多摩支部は平成15年4月実施の校友会組織改革により誕生いたしました。発足当時は11地域でしたが、校友皆様のご理解ご協力と組織委員会のたゆまざる努力により、全国最多の21地域支部を抱える支部に成長し、対象地域を全て網羅するに至りました。

全区域組織化後の課題は①各地域支部の質的向上、②各地域支部登録会員数の拡充、特に女性と若年層の取込み、③情報の共有と迅速化の促進であります。

この3課題への取組として、企画委員会主催の野球・ラグビー・駅伝応援や昭和記念公園でのディスクゴルフ大会等々の開催や組織委員会による複数地域支部共催の地域間交流事業等を実施して、親睦交流と活性化を図っております。

情報の共有・迅速化等では、web委員会の協力のもとHPを活用し、多摩支部会報の発行や地域支部行事及び会議情報等の配信を行っております。

しかしながら、女性や若年層の地域支部への加入は実に微々たるものであり、英知を絞り

真摯に取り組まなければなりません。

多摩支部管内在住校友数は約23,700人であり、内、地域支部会員数は約2,700人であり、組織率は全体で11.5%となっておりますが、各地域支部での組織率は、5%～29%と大きく差が出ております。

この組織率を向上させる中で、女性や若年層が魅力を感じる多摩支部にしようではありませんか。

今、多摩支部では、少ない女性会員に如何に活躍していただくか、腐心しております。本日の総会、議長、アトラクション、懇親会全てで、女性に司会をお願いいたしました。アトラクションも女性一色で若さ・元気を爆発させていただきました。また、現役学生による響きの良い津軽三味線をご披露頂きました。如何でしたか？ この若さ・女性を多摩支部内に拡大させたく思います。皆様の知恵とご協力をお願い申し上げます。

私をはじめ現体制の任期は来年までの1年です。残された任期の中で、先の3課題の進化を更に図っていくよう頑張っている所存でありますので、ご協力の程お願い申し上げます。

(支部長挨拶を一部事後加筆させていただきました。)





祝 辞

明治大学の現状と課題

荒川利治 明治大学情報担当常勤理事

1997年 明治大学工学部卒
 1979年 明治大学大学院博士課程前期
 1983年 明治大学工学部助手
 2005年 明治大学理工学部教授
 明治大学理工学部長・博士（工学）
 2016年 明治大学情報担当常勤理事

（明治大学の評価）

・皆様が学生の時よりも明治大学は更に評判が高くなっているが、大学の評価には、卒業生の皆様の国内外での活躍が重要なポイントです。

（明治大学の現状と課題）

・明治大学が現在取り組んでいることは多岐に渡りますが、グローバル化・国際化への対応は大きな柱です。5年前、文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されている。3年前には、同じく文部科学省の「大学の世界展開力強化事業～アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化～」に本学の構想「CLMV（カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム）の持続可能な都市社会を支える共創的教育システムの創造」が採択された。このような事業を初めとして更なる国際化の取り組みが求められている。

現在、明治大学が設置するカリキュラムの4.5%が英語による授業となっている。ただし、専門教育を英語で行うと、日本語での授業の5倍位時間がかかり、学生が理解しているのかを確認することが難しい側面もある。

明治大学は本年で創立137年、もうすぐ150年になる。この時に明治大学がどういう形で国際化を含めた教育・研究について高いモチベーションを備えた大学になるための計画を立案しているところです。

（財務運営）

・財務体質は、厳しい状態が継続していますが、学費改定や収容定員増の効果もあって徐々に好転しつつあります。

・しかし、授業料を更に値上げをすることは簡単ではない。また、皆さんにご協力頂いております寄付金は年間5～6億円であり、私大伝統校の中では非常に難しい状況です。なお一層のご協力をお願いするものであります。

（大学定員枠の抑制、少子化等の厳しい外部環境の中での今後の対応）

・皆さんの学生時代には7学部体制でしたが、14年前に「情報コミュニケーション学部、6年前に中野キャンパスを開設して「国際日本学部」、「総合数理学部」を設置し、今は4キャンパス、10学部を擁している。また、昨年4月から、授業一コマを90分授業から100分

授業にしました。半年に90分授業15回から100分授業13.5回を実施することで2単位を付与することになり、学年歴が組みやすくなりました。ICTを活用した授業、例えば遠隔授業などを想定して、4キャンパス共通の時間となっています。

女子学生の割合は、本年4月1日現在、全学部平均で35%。文学部では54%、国際日本学部は63%、農学部でも48%が女子学生です。

ハンディキャップを持った学生への対応など、課題を少しずつ改善しているところです。

一方で「23区問題」というのがある。安倍政権で地方活性が重要な課題になっていて、東京23区の大学定員を増やさない方針が閣議決定された。これからの10年間、明治大学では学部構成をどのようにしていくのかを真剣に議論していく必要がある。

皆様の時代は、高度成長期のなかで国内の同級生が200万人前後いた時代であったかと思えます。しかし、昨年2017年に出生した新生児は100万人を切ってしまっている。また、高度成長期の大学進学率は20%程度であったものが現在は約50%になっているものの私大運営は厳しい現実でもある。18歳人口は1992年がピークで205万人、今は120万人、その中で大学進学は60万人。今年度からじりじりと18歳人口が減少する「2018年問題」が到来しています。大学進学率も頭打ちとなっています。

その様な背景で、1992年に523校であった大学が、今や780校近くまで増えている。学生の取り合いになり、定員割れしている大学が、現在40%になっている。

明治大学は近年の入試をほぼ順調に実施してきているが、国内外の各大学は優秀な学生確保は厳しい状況に置かれている。明治大学の運営においては、これからも校友会東京都多摩支部の皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

以上

（国分寺地域支部 佐々木一郎氏の取り纏め文を紙面の関係で、大幅に圧縮させていただきますー広報委）





祝辞 明治大学校友会 監査委員 松浦晴彦

本日は、東京都多摩支部定時総会の開催、誠にありがとうございます。この定時総会において、2018年度の事業計画を中心とする、各議案が、滞りなく審議可決され、西山支部長を中心に、新年度に向けた新たな第一歩を踏み出され、今年一年の多摩支部の充実した活動の展開を、心からお祈り申し上げます。

さて、明治大学校友会は、2003年に組織大改革を実施し、15年を重ねてまいりました。

この間、当時159支部を擁した地域支部も223組織に発展しており、海外紫紺会も20団体に達し、明治大学のグローバル化に合わせて、発展をかさねております。

東京都多摩支部は、全国組織における地域支部組織形成において、筆頭をゆく21地域支部の組織化という大きな成果を達成されました。

これは、前支部長の安田相談役をはじめ、多摩支部の皆様のご強いご努力によるところ大であると思います。

また、安田相談役には、校友会本部においても、今日の校友会組織の改革はもとより、その定着に向けて、大きな指導力を発揮され、本部役員として、常に重要な役割を果たして頂きました。

ここに、改めて校友会組織運営への貢献に、

心から感謝を申し上げます。

さて、校友会は新たな事業として、「紫紺NET」を構築し、校友会奨学金「つなげ紫紺のたすき」を創設し、さらに「明治大学校友会教育・研究振興資金」の改善を図り、また、経済的支援を給付目的とする奨学金「前へ！」の実現を果たすなど、校友会の事業執行において、大学の理解を得ながら、校友会の意思が確実に反映される運営の実現に努めてまいりました。

特に、「明治大学校友会教育・研究振興資金」については、その納入の手続きを簡素化し、利便性を向上しております。定期的に母校に寄付をするという文化を築き、この資金の充実と発展に、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

今日我が国における最高学府をめぐる環境は、ますます厳しくなっております。

明治大学に対する評価を一層高め、世界の明治を目指す、母校明治大学に対し、校友会活動の一層の充実を図り、「明治はひとつ」のもとに、努力を重ねてまいりたいと思います。

本年9月30日は、全国校友石川大会が、金沢で開催されます。

石川大会が魅力あふれる実り多い大会になりますよう皆さんの力強いご支援をお願いいたします。

明治大学はもとより東京都多摩支部の益々の発展と、合わせて本日ご臨席の皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

(本原稿は後日、松浦監査から頂きました。)

女性校友が輝きました



総会司会



受付風景



議長



アトラクション統括



懇親会司会



↑
餅つき大会



↑
BBQ大会

多摩支部校友会組織委員会の活動について



組織委員長

昭39商 當麻 功(小平)

15年前に11の地域支部をもって東京都多摩支部が創設されました。

その後岩崎委員長をはじめとする多くの組織委員会のメンバーの絶大なるご努力により、現在の地域支部は21を数えるに至り、全多摩地区は完全組織化されています。ここに地域における校友の組織的拡大化は一段落を迎えることとなりました。

次の段階としては、さらに新たなメンバーの加入により組織に新風を送り込み、新たな能力・感性を取り込みつつ、組織の健全な継続性を維持していくためにも若年層と女性の加入促進という全国共通の永続的課題がありますが、これは一朝一夕には成立しにくい課題です。

多摩支部としての当面の課題は、西山支部長がかかげる、支部の質的向上です。組織委員会の活動としては、21の地域支部各々がもつ事業計画をベースに周辺の地域支部と協力し他支部との交流へとつなげ、自らを鼓舞するとともに多摩支部全体の活性化へと大きなうねりを生み出していくことにより、支部の質的な

向上を目指すために、「地域間交流プロジェクト」を推進しています。

日々の支部運営に苦戦している支部をいくつか見受けますが、「地域間交流プロジェクト」を活用し、現状からの大変身を実現していく礎としていただけることを切に願う最近です。

「地域間交流プロジェクト」は、複数の地域支部がノウハウを持ち寄り、一つの事業を共同で開催し、その共同開催の中で切磋琢磨し合い、質的向上と量的拡大を図るもので、それがある程度発展定着化すれば、企画事業委員会行事へと移行していくものと考えております。

平成30年度今後の予定プロジェクト

- ①バーベキュー大会
国立谷保第6公園で暑気払いのBBQ大会
9月2日(日)
- ②横田基地日米友好祭会場への通路での模擬店の出店・大学PRを通じて会員加入促進と親睦交流を図る
9月15日(土)、16日(日)

ご来場を期待しています。

下半期計画は、今後HP等でご案内をいたします。



第9回ディスクゴルフ大会 平成30年3月24日 昭和記念公園 16地域支部から63名が参加



企画事業委員長

昭38商 中西宣二 (国分寺)

日頃は、多摩支部の企画、行事にご参加いただき誠にありがとうございます。

本年も第15回定期総会の資料に掲載されています内容の活動を実施致します。

今年度の重点企画行事は

① 10月13日(土)に実施されます箱根駅伝予選会(於、昭和記念公園)の応援です。都内の支部からも大勢参加されます。地元の多摩支部の皆様、是非参加いただき、終了後祝勝会になるか反省会になるか分かりませんが、立川の「良銀」で会食会を計画しています。

② 秋の地域支部合同ゴルフコンペです。10月15日(月)昭和の森ゴルフコースで8組(32名)準備しています。春、秋の年2回開催しています。スコアより皆なで楽しくプレーし、表彰式のパーティーで盛り上がりましょう。

前回、春の大会は8地域

支部の29名の参加でした。

③ 12月3日(日)関東大学ラグビー(明早戦)、秩父宮ラグビー場での応援です。

毎年大勢の校友が参加しています。昨年は13地域支部の114名の参加でした。約60名の有志で信濃町駅前での祝勝会で盛り上がりました。

④ 最後に、年度末の3月23日(土)総仕上げとして昭和記念公園でのディスクゴルフ大会です。

毎年60名~70名の校友が参加し、地域支部対抗戦、個人戦で頑張り終了後、立川の「良銀」での表彰式及びパーティーを計画しています。

以上でございますが、興味のある方は各地域支部に企画担当の方がいますのでご相談下さい。多くの校友の参加をお待ちしております。

春の東京六大学野球応援





左側写真

佐藤西部支部長
 荒川情報担当理事
 三浦北部支部長
 岡本父母会多摩支部副会長
 上原東部支部長
 松浦校友会監査委員
 坂井南部支部長
 西山支部長
 土屋実行委員長

右側写真

桜井西部支部幹事長
 柳澤幹事長
 飯田副支部長
 宇田川南部支部幹事長
 高橋東部支部幹事長
 川部北部支部青年部長



明治大学校友会東京都多摩支部役員

八王子
 在任校友 三四三四名
 一九二二年 設立



立一
 在任校友 一〇三四名
 一九六九年 設立



昭一
 在任校友 六六八名
 一九八三年 設立



府一九八三年 設立
中
在住校友 一七〇五名



小一九八四年 設立
平
在住校友 一三五二名



町一九八〇年 設立
田
在住校友 二九三九名

一九九二年 設立
 小金井
 在住校友 一〇七五名



一九九四年 設立
 村山
 在住校友 一五八五名



明治大学校友会東京都多摩支部
 第15回 定時総会



一九九五年 設立
 武蔵野
 在住校友 一二〇名

国一
九七〇年 設立
在任校友 五六五名



青一
九六一年 設立
在任校友 六六四名



三二
鷹〇〇五年 設立
在任校友 一三八六名

一〇〇八年 設立
国分寺
在住校友 一二二九名



二〇〇九年 設立
日野
在住校友 一二二五名



二〇一一年 設立
あきる野
在住校友 五二二名
この写真は あきる野地域支部
尾畠様から頂きました。

一〇二〇年 設立
東久留米
在住校友 七三四名



一〇二〇年 設立
清瀬
在住校友 四三三名



一〇二〇年 設立
多摩市
在住校友 一一三三名

一〇一三年 設立
福生
在住校友 三八〇名



一〇一四年 設立
稲城
在住校友 五四〇名



お詫び
羽村地域支部の集合写真に
ついては、校歌斉唱が始まり、
撮影できませんでした
申しわけございません
在住校友 三八八名





募金集計 180,096円

編集後書 先ず冒頭に、大阪北部地震及び西日本豪雨で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。復旧・復興はこの暑さと泥土で阻まれ大変なことです。支援の輪を広げたく思います。

多摩支部在住の校友の皆さま、日赤等への募金、よろしくお願ひ申し上げます。

さて「平成時代」最後の多摩支部総会が、第15回の節目として過去に類を見ない程の賑やかさをもって無事終了しました。参加いただいた校友と関係者の皆さま、ありがとうございました。今日ここに示された強い絆を各地域において、大学事業への対応において是非継続的に持ち続け、そして実行に移して具現化して欲しい。紫紺ネットにも登録し、また大学や他支部のHPを閲覧して、今の大学を、他地域の活動を把握して、明日につなげていきましょう。写真は国立の若村和之氏(昭53年文)の全面的協力を頂きました。 明治大学校友会東京都多摩支部広報委員会